独自性で勝つ

京の有力企業 トップに聞く

NKE
中村 道一 社長

省エネ型空圧機器を開発

―空圧（エア）式のチャックやシリンダー、コンベヤーをはじめ生産工程を自動化する小型FA機器で強みを発揮しています。どのように事業を伸ばしてきたのですか。

「単軸ロボットといった自動化機械から創業したので、FAには強い思い入れがあった。複雑な機械の動きも、一つひとつ分解すれば安定したパターンが見えてくる。それを抜き出し標準化した製品が、エアチャックやスライドシリンダー、コンベヤーなどだ。これらを多様に組み合わせ、顧客ごとに最適なFAシステムの構築を目指している」

―チャックのようなFA機器では競合メーカーが増え、価格競争も激化しています。差別化の戦略はいかがですか。

「顧客から信頼を得て食い込み、工程の特徴やニーズを的確につかめば、生産改善も含むFAシステムの提案が可能になる。『作り手の論理』でなく『使い手の論理』に徹するエンジニアリング力で、顧客に価値をもたらしたい」

―国内の設備投資は伸び悩んでいますが、需要開拓の工夫について聞かせて下さい。

「中国でも年内に事業を始めるが、国内ではFAニーズを深掘りする必要がある。顧客から学ぶことで自動化の知恵はさらに高まる。さらに省エネ型の空圧機器の開発も始めた。新たな市場では食品、医療、農業の自動化ニーズに挑戦したい」